

設計課題 「シェアハウス（木造）」

1. 設計条件

ある地方の住宅地に、地域の祭りの際に近隣住民と交流することが出来る共同居住型賃貸住宅（以下シェアハウスという）を計画する。

計画に当たっては、次の①～③に特に留意する。

- ① 南・東側に位置する公園で毎年夏に行われる祭りの際、屋外交流広場及び建築物内の多目的室を開放し近隣住人と入居者が交流する。
- ② 公園とシェアハウス敷地は行き来できるように門扉を設ける。
- ③ 建築物及び敷地内の動線は、災害時には安全に避難できることを考慮した計画とする。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建蔽率の限度は60％、容積率の限度は200％である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数及び建築物の高さ

- ア. 木造2 階建てとする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7 m以下とする。
- ウ. 耐力壁(筋かい等を設けた構造上有効な壁)は必要量をバランスよく配置する。
- エ. 建築物は耐火性及び省エネルギー（環境負担軽減）を考慮して計画する。
- オ. 建築物の外壁は乾式、屋根勾配を4/10の寄棟または方形造とする。

(3) 延べ面積

- ア. 延べ面積は、「190㎡以上、240㎡以下」とする。
- イ. ピロティ、玄関ポーチ、バルコニー、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。

(4) 人員構成等

管理人：1人が巡回にて管理する。（常駐はしない）
入居者：5人（入居者がそれぞれの個室に居住する）

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	室 名	特 記 事 項
管理部門 1階	管理人室	ア. 専用の出入口を設け、上下足の履き替えはしない。 イ. シェアハウス部分と屋内で行き来できるようにする。 ウ. いす及びテーブル（1席分）を設ける。
	倉 庫	・ 管理用具を収納し、管理人室及びシェアハウス屋内から出し入れできる開口部を設ける。
シェアハウス 1階	玄 関	ア. 下足入れを設ける。 イ. 土間部分は広さ4㎡以上とする。
	L D K	ア. テーブル・椅子（6席以上）を設ける。 イ. 広さ40㎡以上とする。
	多目的室	ア. テーブル・椅子（6席以上）を設ける。 イ. 広さ28㎡以上とする。 ウ. 屋外交流広場と直接行き来できるようにする。
	共同納戸	・ 入居者が共用する。
	浴 室	・
	洗面脱衣室	ア. 浴室用とする。 イ. 洗面器1台を設ける。
	シャワー室	ア. シャワー室（1）（2）を設ける。 イ. 各シャワー室内で防水カーテンで仕切り、脱衣を行う。
	洗 面 室	・ 洗面器を2台設ける。
	便 所 (1)	・ 入居者のほか管理人も利用する。
	便 所 (2)	・ 入居者専用とする。
シェアハウス 2階	個 室	ア. 個室（1）～（5）計5室を設ける。 イ. 洋室とし、収納及びベッド1台を設ける。 ウ. 広さは10㎡以上（収納を含めてよい）とする。 エ. 各個室にはバルコニーを設ける。
	談話コーナー	ア. 入居者同士がくつろいで交流できる空間とする。 イ. 各個室から行き来しやすい位置に設ける。
	ミニキッチン	・ 入居者が利用し、室又はコーナーとしてよい。
	洗面洗濯室	・ 洗濯機3台、洗面器4台を設ける。
	便 所 (3)	・
	便 所 (4)	・
(注1) 各要求室等において、床面積・広さの指定がない場合、床面積は適宜とする。 (注2) 屋内階段は、安全を確保するために、次の計画とする。・蹴上げの寸法を180mm以下、踏面の寸法を225mm以上とする。（踏面の寸法は、回り階段の部分の場合、踏面の最も狭いほうの端から300mmの位置において確保する。） (注3) 各個室のバルコニーが直接道路に接していない場合、バルコニー前面に有効幅員1.5m以上の空地及び避難経路を設ける。		

(6) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

屋外スロープ	・ 道路からシェアハウス玄関ポーチに至る経路に段差が生じる場合に設ける。
駐車スペース	ア. 1台分（幅3.5m以上）を設ける。 イ. シェアハウス入居者の引っ越しの際に、荷物の搬入出が容易となることを考慮して設ける。
駐輪スペース	・ 6台分を設ける。
屋外交流広場	ア. 多目的室と隣接し、直接行き来できるようにする。 イ. 直径3,640mmの円がおさまるように計画する。
門・塀・植栽等	・

2. 要求図書

- a. 答案用紙の定められた枠内に、下表の要求図書を記入する。（寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。）
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする。（定規を用いなくてもよい。）
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm（矩計図（断面）にあつては、10mm）である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよい。

要 求 図 書 ()内は縮尺	特 記 事 項
(1) 1 階平面図兼配置図 (1/100) (2) 2階平面図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを記入する。 ・ 建築物の主な寸法 ・ 室名等 ・ 吹抜けの範囲（吹抜けを設ける場合には1階平面図兼配置図には破線、2階平面図には一点鎖線でその範囲を明記する） ・ 「通し柱」を○で囲み、「耐力壁」には△印をつける。 （注）「耐力壁」とは、筋じかい等を設けた構造上有効な壁を言う。 ・ 矩計図の切断位置及び方向 イ. 1 階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・ 敷地境界線と建築物との距離 ・ 道路から建物へのアプローチ、駐車スペース、駐輪スペース、屋外スロープ、門、塀、植栽等 ・ 屋外交流広場に直径3,640mmの円。（実線で明記する） ・ 道路から敷地の出入口には、▲印を付ける。 ・ 玄関ポーチ、玄関の土間部分の地盤面からの高さ及び管理人室、LDKの床高。 ・ 玄関…下足入 ・ LDK…テーブル、椅子、台所設備機器（流し台・調理台・コンロ台・冷蔵庫等） ・ 多目的室…テーブル、椅子 ・ 管理人室…テーブル、椅子 ・ 浴室…浴槽 ・ 洗面脱衣室…洗面器 ・ 洗面室…洗面器 ・ 便所（1）（2）…洋式便器 ウ. 2 階平面図には、次のものを記入する。 ・ 1 階の屋根伏図(平家部分がある場合) ・ 個室…ベッド ・ 談話コーナー…ソファ ・ ミニキッチン…流し台、コンロ台 ・ 洗面洗濯室…洗濯機・洗面器 ・ 便所（3）（4）…洋式便器
(3) 2階床伏図兼 1 階小屋伏図 (1/100)	ア. 主要部材(通し柱, 1 階及び 2 階の管柱, 胴差, 2 階床梁, 桁, 小屋梁, 火打梁, 棟木, 母も屋や, 小屋束など必要なもの)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ. 火打梁の代わりに、構造用面材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、釘の種類・打ち付け間隔を明記する。 ウ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 エ. 建築物の主要な寸法を記入する。
(4) 立 面 図 (1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。
(5) 矩 計 図 (1/20)	ア. 切断位置は、2階のバルコニー及びその出入口を含む部分とする。 イ. 作図の範囲（水平方向）は、柱心から室内側1,000mm、室外側はバルコニーの手すり壁を含む部分。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向および垂直方向の作図上の省略は、行ってよいものとする。 エ. 主要部の寸法等（床高、天井高、階高、軒高、軒の出、開口部の内法、屋根の勾配、バルコニー手摺壁の高さ）を記入する。 オ. 主要部材(基礎, 土台, 大引き, 1階根太, 胴差, 2階床梁, 2階根太, 桁, 小屋梁, 母屋, 垂木)の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口（又は、これに代わるもの）の位置、名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 屋根（小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井）、外壁、1階床、その他必要と思われる部分の断熱・防湿措置を記入する。 ケ. 室名および内外の主要な部位（屋根、外壁、床、内壁、天井）の仕上げ材料名及びバルコニー防水材料名を記入する。 コ. 外壁の仕上げについては、乾式工法によるものとする。
(6) 面 積 表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 面積の数値は、小数点以下第2 位までとし、第3 位以下は切り捨てる。
(7) 計画の要点等	・ 建築物及び敷地の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ① 屋外交流広場の計画で工夫した点 ② 安全に避難できることを考慮した計画で工夫した点 ③ 環境負担軽減の計画で工夫した点

この問題で一般チェック項目以外に学習するポイント

- 敷地に対し、建築物の配置を計画するには2通りの方法があることを解説する。
- 災害時の救助・避難についての空地・経路の指定寸法が収まるかギリギリの敷地設定が予想される。その際の考え方を解説する。
- 耐火および環境負担軽減考慮をどのように処理し、計画の要点でどのようにアピールするかチェックする。
- ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）を要求された場合を解説する。
- 屋根の勾配・形状指定を理解できているかをチェックする。（各図面間の整合性、特に立面勾配、伏図小屋構造・矩計図見え掛り梁寸法）
- 「近隣住人と交流」に関する要求について、関連する施設の配置計画が効率的に行われているかチェックする。
- 談話コーナーの配置要求を適切に履行できているかをチェックする。

